

増収率  
今期

# 「再編組」上位に

本社  
予想  
マンスション販売も好調

日本経済新聞社が二〇〇三年三月期の予想連結増収率をランキングしたところ、上位十社のうち七社を経営統合や部門買収などで規模を拡大した企業が占めており、事業

再編の進展ぶりをうかがわせた。好調の続くマンスション販売や需要回復をうかがい、銀行・証券・保険、決算期変更を除く千五百七十六社。

ループ。日東大都工業が三井不動産建設と経営統合して持ち株会社に移行したため、売り上げは前期比二・二倍に拡大する。二位の東急ロジスティックも四月に東急グループの物流二社と事業統合したことが寄与する。五位のピー・エスは十月に三菱建設と合併する。

再編組以外で目立つマンスション販売では、三位のセザールや十三位の平和不動産は大都市圏を中心に分譲マンスションの売り上げ戸数を大幅に伸ばす。八位の東京精密や九位のアピックヤマダなど半導体関連は、情報技術(IT)不況からの回復を見込む。アジア向けを中心にした半導体製造装置などの伸びが増収に寄与する。

順位	企業名	増収率	予想連結売上高
1	みらい建G	119.3	1,300
2	東急ロジ	91.9	366
3	セザール	89.0	662
4	NECトキー	74.7	1,230
5	ピーエス	69.9	1,560
6	富士通機	61.7	870
7	富通結金	59.7	200
8	焼東京精	58.5	540
9	アピックヤマダ	50.8	189
10	日清油	50.5	2,100
11	アイネット	50.5	305
12	キョウデン	49.1	900
13	平和船	47.3	300
14	栗林船	46.4	420
15	ニッシン	44.2	526
16	URBAN	42.3	400
17	ジョイント	38.3	995
18	富士ソフト	37.5	1,550
19	TOWA	37.4	188
20	富士通電	36.5	680
21	ゴールドクレド	36.0	935
22	ワタミフード	33.4	570
23	栃富土	33.4	480
24	日東急	32.3	264
25	東日本	32.3	14,000
26	フコエ	31.9	140
27	コト機	31.0	315
28	富士機	30.6	570
29	ディス	30.4	396
30	大板	30.3	523
31	富士冷機	29.3	1,771
32	ゼンシヨ	29.2	776
33	コマツ電	29.0	675
34	三菱ウエ	28.0	2,930
35	千代建	27.2	1,800
36	船代井電	27.1	3,010
37	富横河	26.7	359
38	仁丹	26.6	760
39	イソファ	26.4	157
40	タケミ	26.4	600
41	東洋エン	25.9	230
42	松屋フ	25.8	2,000
43	ネット	25.6	551
44	富士通	25.2	1,000
45	富通	24.6	1,890
46	ダイキ	24.6	1,200
47	NECソフト	24.5	1,160
48	マース	24.3	266
49	図研	23.6	189
50	サミ	23.6	2,030

(注)連結ベース。決算期変更会社を除く3月決算の全国上場1685社のうち、2002年3月期の連結売上高が100億円以上の1576社が対象